



茶人のうばふ名刺

家業を勤むべし 節儉
を守るべし

手

79
4310
5



今日一日之事

- 一 今日一日三徳の徳恩をりき得
- 一 かくは不足いふ海きき事
- 一 今日一日決て腹を立中しあはき
- 一 今日一日嘘言をいふ事
- 一 今日一日人のあきとけりは
- 一 今日一日の存命を執りて

業成大切女勤むる事
大なる唯今る一日の旗を
物と好む人
徳を我のあり
地獄を
情思すを
今も極楽

忠孝を重んずべし
神明を敬ふべし

皇室を尊ぶべし
本因を大切めすべし
國法を守るべし
國益を圖るべし
學問を勉むべし
身體を強健めすべし
家業を勵むべし
節儉を守るべし
家内和睦すべし
同郷相助くべし

信義を守りて 慈善を行
ふ。人の害をなまじかき非道
の欺を貪るべからず
酒色も溺るべからず 悪しき
風俗も染るべからず
宗教を信ずるに自由なり
本國の害とるべき
宗教に信ずるべからず

元明治六年 十月元
貸年八条

一金 百貳拾円 加藤亀太郎
のり

明治

一金 五拾円 中西佐五郎
のり

明治

一金 五拾円 別所文司
のり

明治十二年四月六日貸 年一割五分

一金百五拾円 北川宗吉

十月三日 貸 年一割五分

十一月十五日

一金百五拾円 北川宗吉

十二月十日 貸 年一割五分

十二年十二月十五日 年一割五分

一金五拾円 三井銀行

十二月十日 貸 年一割五分

十二年十二月十五日 年一割五分

一金百五拾円 右田家

十二月十日 貸 年一割五分

年一割五分

一金百五拾九円 右田家

十二月十日 貸 年一割五分

十二年四月六日 年一割五分

一金百五拾九円 右田家

限 年一割五分

右田家 右田家 和興 和興

此二年一月十日 年七朱

一金五拾四円拾九銭 三井銀行

阪あゝ

此の百廿二角三十八銭一〇
より三十円五角半金入單式
二〇〇〇 百五拾四円九銭入存百円一月十日
と書きたるもの百円和助勢通し強合

此一年十月十五日 年七朱

一金五拾四円三拾貳銭 三井銀行

此の〇〇〇〇〇〇〇〇
倭〇

此二年九月十四日 年五朱

一金卅円 銀行

田端徳〇

此〇去り〇九八円六九銭利息差同單五
外、之等五ノ存分増合也九通

此二年九月十四日 年五朱

一金貳百〇七円五拾九銭 左向針

阪あゝ

但、二〇〇〇
百円利四円七朱
百円利二円九朱
此一月四月兩度も和助勢より更元金三拾五

明治三十四年九月十四日

白子七段

一 金百六拾円五拾銭 四日市銀行

萬。

明治三十四年九月十四日

白子七段

一 金八百円 四日市銀行

知照。

明治 年元

一 金三拾円 田端祐次

明治三十四年九月十四日

明治三十四年九月十四日

一 金貳百五拾圓 四日市銀行

小口領

一 七拾円

前納利子 壹円二角三分

九千九百

十月四日
金百六十圓

計 四百七十五圓
比田三十三圓

内 金 五拾圓 十月廿四日 元也寸

十三日

金百三拾圓 元也寸

一拾圓 金拾五圓 元也寸

比 何處の 袋金也

二月十四日

金百圓 元也寸

明治二十三年三月十九日

倭

一金百円

津百五銀行

〇
一金貳百七拾円 萬 〇 所

〇
一金六百七拾円 和 〇 所

廿三年一月五号

阪 〇 〇

一金五拾七円九拾七銭 〇 〇 所

〇
一金百圓 萬 〇 所
右 〇 所

世三年一月十六日

一金貳拾五圓

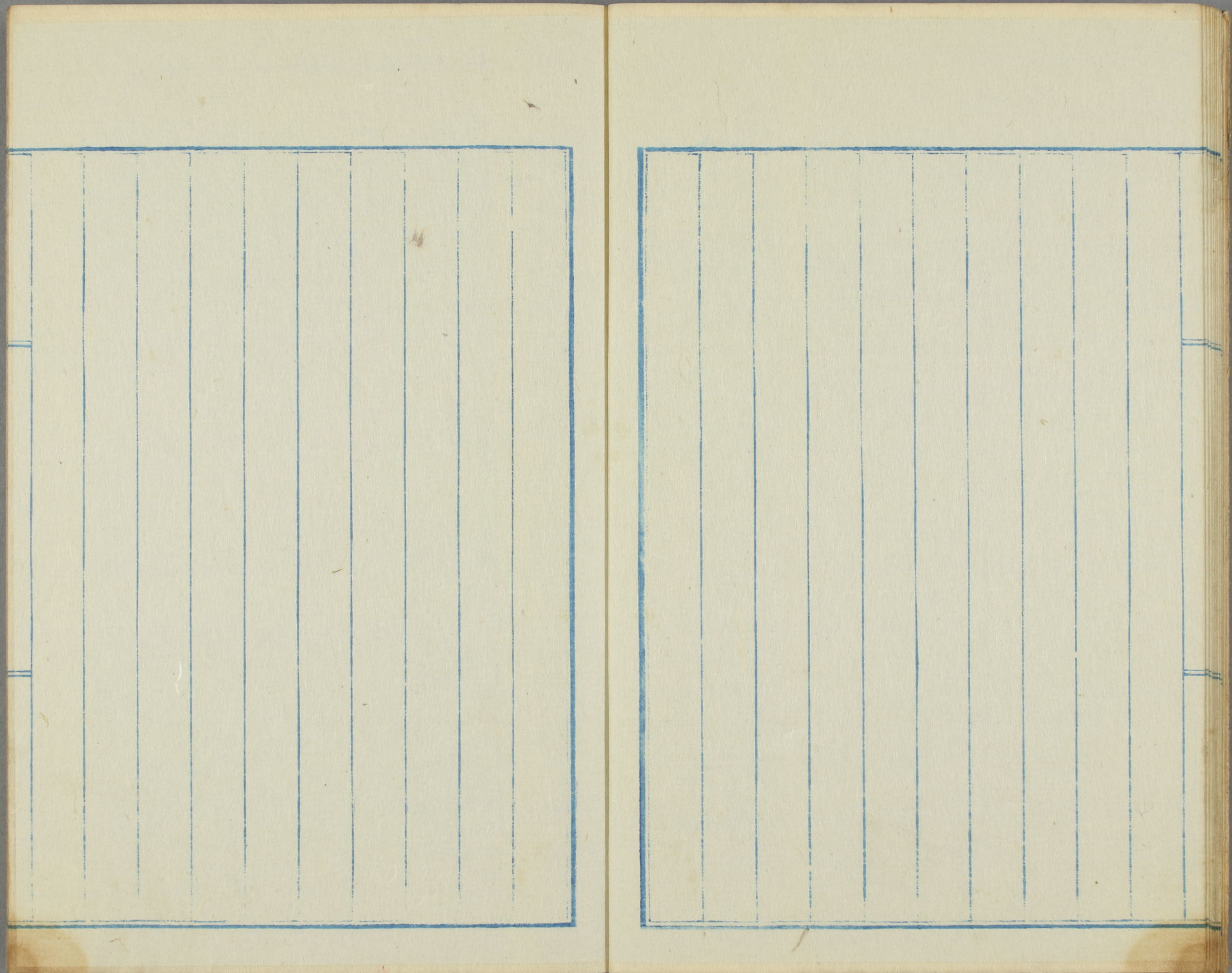
伴一五月張
和子月九朱

伴為加人

世三年二月十四日

一金拾圓也

伴為武吉



石黒道提、石橋良叱、石津屋宗興女
 石塚宗通、石井治右門、石田四郎兵衛
 石川勘七、石治部、石田治部少輔
 石田喜三次、石田木工頭、石川自安
 石川丈山、今井宗久、今井宗薰
 伊勢屋宗滴、一尾伊織、糸屋宗有
 井筒屋十右門、稻葉與八郎、今大路道三小路
 因果居士、市川心齋、伊丹屋紹無
 井原彦右門、井上忠左門、猪口猪左門
 池田備中守、池田宰相、井口猪左門

家康公、伊勢立河彌、醫師玄勝
 池田孤山、池田一得齋、板倉周防守
 伊東播磨守、池田清用齋、伊丹宗長
 磯谷新左門、稻垣休叟、岩田周幸
 五十嵐源七、幽塚、石原宗口
 糸屋庄三郎、家光公、伊丹屋宗不
 稻葉丹後守、伊藤十太夫、岩本清右門
 伊藤無樂、岩本市十郎、伊藤傳彌
 板倉攝津守、磯甚藏、伊藤學而
 岩田東林、怡溪和尚、池田宗順

井上千藏、岩田林碩、岩崎勝藏
 石見阿波守、伊佐幸琢三代、五十嵐市十郎
 池辺自休、伊藤喜左門、飯田庄太丈
 伊藤長丈、伊佐栄琢、井伊兵部少輔
 石川勘七、飯塚桃葉、井出又右門
 板倉平兵衛、井上久齋、今峯舍子
 縮葉駿河守、縮葉下野守、縮葉主親
 伊藤勝之進、倚松軒、生駒權平
 是是活法一、岩宗庵、井上忠左門
 有隣軒輔信、有覺、有中

浪
 伊豫西條一、京家原清藏瀬戸
 今宮宗了水、フセウモノ
 板屋長兵衛、高臺寺妙測

六郷阿波守、六郷伊賀守

羽淵宗印、長谷川宗仁、針屋宗實
 針屋宗春、針屋宗和、針屋紹味
 針屋宗丸、羽淵與右門、羽柴監物
 蜂屋阿波守、博多宗室、羽柴藤五郎
 服部道圓、春木如水、速見宗達
 長谷川等運、林道溪、長谷川主膳
 原安左門、服部見瑞、林崎小右門
 服部賀齋、林春皎、秦秦一山
 濱田黙齋、秦可齋、羽柴左衛門尉
 羽柴下野守、半井大和守、梅林奇得

蜂谷宗悟、林義牧、賣茶翁
 長谷川右兵衛、速見宗寬、秦紹甫
 針屋宗真、羽田五郎、小條宮本庸
 濱田傳左門、半堤庵、半寸菴
 中文字屋廿五、法雲院成岩、羽淵宗印
 長谷川宗仁、原田平入、原治右門
 林隨底、春早右衛門、早川助右門
 服部傳佐、橋本宗仙

二連木義山
 西村常陸
 西尾十兵衛
 丹羽加賀守
 丹羽左京守
 丹羽遠江守
 新山仁右衛門
 西村誓休

西村道仁 紹興の帝
 西村九左衛門 喜高代大守
 西服善右衛門 丹波守
 西田平八 置首

牡丹花肖柏
 本法寺日通
 本阿彌光悅
 本阿彌光甫
 細川三斎
 南竹
 堀尾帶刀
 細川越守 忠興
 堀尾孫助
 堀内仙鶴 代
 本目肥後守
 保科肥後守
 細井藤兵衛
 本莊宗敬
 細井定橘
 堀 助之丞
 堀勝右門
 堀丹波守
 法雲院成若
 堀田肥後守
 星野道二
 堀田河存守
 堀五郎左門
 本多中務
 細川幽齋
 北條美濃守 善山
 本覺坊
 法雲院成若
 本行坊
 坊城俊將卿

本納寺
堀田監司
本多豊後守
本多誠朝

八

一貫
逸見左太郎
別所正真衛宗入和物之形名等逸見左太郎

藤堂將監 一左邊將監 富田知信 富田信高信濃守

東陽坊長盛 鳥井左京 戶田民部

道七 戶川筑前守 土肥二三

土岐元信 三 豐田監物 三 豐田定右工門

豐田監物 土岐大隅守 土岐主水 二

戶田長佐 土岐市右門 土田三十郎

富吉道茂 遠山丹波 富永庄助

鳥居引拙 豐乃秀吉 道晃法親王

土井能登守 土倉 道平

道六 道觀 道元禪師

道正院庵 東福院殿 藤左門全師

道弥全師 道運上 道有上

豐乃秀吉 東禪寺 鳥居宗逸

・茶屋四郎八郎四郎・中條不山・千柄菊且
・千原三晴・竹隱

○茶臼屋小兵衛

千種屋宗十郎

千鳥黒三二〇ノ七種

・龍造寺六郎次郎・良壽
龍野侍從・流安
龍野侍從

織田信長公、織田有樂、小幡孫一郎
 大谷刑部、尾形深省、尾形光琳
 隱岐宗沔、織田常真、織田頼長
 織田左右衛門、織田長好、織田信益
 織田真置、織田自斎、織田主稅
 太田松齋、大賀如心、大久保主殿
 大久保與右門、大橋道也、大野道可
 大野修理亮、大森漸齋、大森杖信
 大森有斐、大久保豊前守、大西用齋
 大口樵翁、大口如翁、大島四郎左門

田田甚右門、田本半助、大久保相模守
 大久保藤半郎、大久保存勝、小野藤兵衛
 奥隅自閑、押田藤左門、大西嘉平太
 田田宗仙、大塚春朝、大木玄甫
 大草主稅、田本權八郎、大澤長兵衛
 大池宗琢、田田耕雲、尾關長傳
 大池宗琢、尾崎權左門、尾関長玄
 田野三益、大坪平七、大西閑齋
 大島四郎左門、小幡上總介、大久保權左門
 大久保淡路守、小幡上總介、大久保入樂

小野久豊、太田一楽、田田八之丞
 田田庄右門、小幡休甫、太田吉五郎
 大矢三葉、小原良安、小野如堅
 田部宗因、田本宗唵、小川左馬助
 小川主馬、小野庸山、奥村喜兵衛
 大宗善好、太田左六郎、尾地茂左三門
 大富ノナリ、太田備中守、太田快庵
 大森禮三、田田道竹、落合小右衛門
 大塚丹弥、田村宗伯、田村新右三門

和田持賢、渡辺道用、若代名溪
 鷹司輔信公、渡辺佐左三門、若林吉郎兵衛
 有隣軒

紙屋宗且、片桐石見守、蒲生飛彈守、
 重宗甫、上林休德、輕粉屋宗陽、
 金森長直、金森宗和、夙早實種卿、
 金森法印、河尻肥前守、榎屋堅佐、
 堅田兵部、貝寶半兵衛、片岡信助、
 笠原宗模、笠原道桂、神崎紹和、
 以重森長重、神尾備前守、片桐石見守、
 片桐主膳正、神尾備前守、片桐帶刀、
 片桐新之丞、河野宗鷗、神尾宗幽、
 鴉川筑後守、加藤左京將監、加賀山衛士

神戶三十郎、河合專意、上月八右工門
 香西織衛、觀山、堅田祐庵
 神谷祐見、神戶、神保佐渡守
 高源院、神海長藏、勝與八郎
 烏丸光廣卿、加賀爪丹膳、笠權兵衛
 川上宗雪三川上宗什、川上宗壽、川上宗玉、川上不自
 川上渭白、加藤守隆、風早寧相
 狩野宗朴、梶正峰、加々爪甲斐守
 神尾若狹守、狩野守信、勸修院高顯卿
 笠倉屋半兵工、狩野永隆、風早三位重種卿

譽田屋宗宅、與五郎、萬屋吉松
 淀屋筒庵、美良藏坊、横井松柏
 横梶長玄、吉見喜齋、横田宗朴
 吉川藏人、吉田長太郎、吉田茂助
 吉田秀庵、吉澤仙四郎、吉田宗雪
 米津周防守、刈田宗拂
 吉田宗意

竹倉紹滴、武野紹鷗、武野宗瓦
 瀧新左門、武野宗朝、太子屋宗高
 太子屋宗有、多賀左近、高山右近友祥
 立石紹林、武田庄吉、高山勘左三門
 田原四郎三郎、高山喜三郎、田村主殿頭
 多田宗菊、多田宗掾、立花平白
 立花宗有、瀧本坊照乘、高橋休用
 橋屋宗玄、田中一圓齋、多賀半一
 高井小十郎、高田三郎、田中通順
 高井伊賀、田辺道甫、高井作左三門

田中久左三門、高木正齋、多賀慶左三門
 高井土佐、高柳久馬、高良若狹
 高木主水正、高野長賀、高源院
 田中順哲、玉川宗重、高野長賀
 高島利平太、多田臺岐、田中甚之丞
 高木主水正、高木播磨守、高井長太夫
 瀧川弥五郎、高須金左三門、高山喜三郎
 竹屋喜四郎、高島道齋、高島玄且
 伊達正宗、大文字屋義清、大屋宗頓
 大屋道頓、竹本屋孤雲、伊達道作

・澤沢和尚・竹村路馬庵・立回惣右門
・竹島猶之丞・樽屋藤次郎・竹口如林
・玉川宗重・谷理齋・谷村三育
・伊達左兵衛・谷村喜順・竹子三税
・谷次郎兵衛

・廉齋

尊行院 宗陳 宗悟

宗清 僧幸順 宗德

宗祇殿 宗對馬守成 宗純

宗彌 宗室 宗明寺春紅

相馬長門守 相馬因幡守

宗柏

津田宗伯・津田宗達・津田宗及

通圓・津田軍人・津輕屋三右門

津田郡太夫・津田外記・辻忠兵衛

都筑小膳・津田六郎兵衛・土門源次郎

土門源之丞・辻玄哉・鶴岡白蜂

土屋宗俊・土屋相模守・柘植善九郎

辻寛左門・鶴岡壽栄

根本忠三郎

長井右近、鍋島豊前守、長岡大藏、
 長岡休夢、永野出羽守、中村仙悦、
 那波宗洋、中野玄以、南坊宗慶、
 南坊宗淳、南坊宗元、納屋宗雪、
 永井信濃守、永喜秀圓、長尾仙鼠、
 永井丹藏助、奈良屋市右門、長尾栄壽、
 南條數右門、成瀬七右門、永岡忠藏、
 長谷如水、永井伊豫守、名倉斗齋、
 南部遠江守、成田吾友、永田藤右門、
 中島宗古、奈良崎彌左門、中村式部少輔

中西立佐、中川修理太夫、中 宗谷
 中村宗一、中村宗恩、南部大膳太夫
 中山備前守、南部播磨守、納屋宗雪
 長谷太四郎、中川宗悦、中根如雲
 直村閑右門、名倉斗齋、中西栄之助
 中井祐甫、七澤佐左門、中西仲元立
 中根道意、中村仙悦

村田珠光
 村田宗珠
 掠宗理
 無學和尚
 室堂甫
 村田一齋
 村松伊織
 村士弥十郎
 無樂
 村瀬仙太郎

上田佐太郎
 上野宗吟
 舟田近江守
 上田宗古
 上柳甫齋
 植田榮樹
 宇佐美點齋
 植田平左門
 舟本積雨
 牛尾用悦
 舟田宗貞
 舟田宗貞
 聖龍院御門全
 梅若六郎
 梅系孫左門

野村吉右門、野村吉右門、野田彌左衛門
野元道元、野村休盛代、野村休哲

桑山左近、久須見疎安庵、桑山重晴
熊井半次郎、黑田勘解由、久米玄黛
朽木伊豫守、黑田正玄、黑田正悦

黑田正圓、桑山下總守、栗原圓賀
久野玄斎、朽木和泉守、朽木大炊頭
朽木伊豫守、久志本式部、朽木近江守
朽木東市、久世三四郎、黑田由悦
黑田正是、桑村志摩守、草部屋宗栖
兼光日向守、日下宗珍、穴洼田大炊允
熊谷半次郎、桑村宗仙、櫛田林庵
倉又左衛門

ヤ

志

新仲

七竹逸

安富常通

天瑞屋

了

山崎新左門

山本助五郎、山上宗二、山上三二

山科宗甫、山田宗備、山崎志麻子守

山田宗無、山中吉舟、山口宗古

山田宗用、山本道旬、山口宗也

山田嘉兵衛、山田道水、山本三支齋

山田一齋、山田傳五郎、山形可齋

山田常嘉、山口伊豆守、山寺甚左門

山本角兵衛、山本退庵、山田逸齋

山田蘭齋、山田宗偏、山田宗引

山田宗圓、山田宗也、山田宗俊

安間源全

山田宗因

山内九左門、山田宗因、山田宗屋

山藤晚成、藥師院、數門紹智

山内對馬守、山田左仲、山角四郎右門

山田玄瑞、山田大有、山根宗一

八島久右門、山中道億、藥院

柳川摺助、柳川為月、安田是誰

安部久信、數丹真音、了劍子

紹拙、紹庵、紹英、紹春

紹節、紹真、了劍、了知

宗也、宗也、了竹心、了竹蔭

松本珠報、松平陸奥守、松江隆仙
 松下宗存、前田玄以、松永久秀
 松本甚右門、松本紹太郎、前田利家
 松岡左京、松井佐渡守、前田淡路守
 牧野半右門、松尾宗二、町田秋波
 町田圓齋、町田章波、松平伊賀守
 松平山城守、松平左京大夫、松平出雲守
 松寺謙堂、松平備前守、前田大和守
 松平左兵衛佐、松平備前守、松平甲斐守
 松平助之允、松井林德、松崎庄五郎

松尾宗仙

松平大炊頭、松浦玄蕃、松平播磨守
 松下與七郎、松平能登守、松平出羽守
 松平上總介、松平日向守、松平三助
 松本屋眉月、增山河舟守、松平民部大夫
 松本留之丞、松平大學頭、松平刑部大輔
 松平壹岐守、松平圖書、松平石見守
 松本善甫、松本淨空、松本樂山
 松平細昌、松尾宗二、松尾宗五
 松尾宗政、松尾宗俊、松尾宗五
 松浦鎮信、松田勝右門、榎長左門

・ 旗 宗空 ・ 牧村利貞兵部 増田右衛門尉
 ・ 柳川權助 ・ 前野出子守 間部若狭守
 ・ 蔭田権助 前田淡路守 松本見休
 ・ 松田忠兵衛 矢野美良守 蔭田玄蕃頭
 ・ 堯然法親王 堯列和尚 慶嚴
 ・ 玄庵 桂隱齋宗越 滿行寺
 ・ 牧野備前守

・ 藤田宗理 古市播磨守 已下十名
 ・ 藤村庸軒 古田織部直 古市左馬助
 ・ 古田織部正 古田織部正 藤波季忠卿
 ・ 藤掛壽木 古田織部正 船越伊豫守
 ・ 古田齋宮三 藤林宗源 藤林主馬
 ・ 布施孫兵衛 古屋紹雲 藤村庸軒
 ・ 藤村正員 藤村如堅 藤村如軒
 ・ 船越駿河守 深澤佐左門 深澤伊左門
 ・ 舟木又甫 福地三河守 深田三知
 ・ 船井為春 武藤清順 福田屋圓藏

普門院惠海

小西道純 小嶋屋道察 光源院義輝公
 古笥のり 小西如清 小西彌三
 小西安清 小早川隆景 小西塙守
 小西和久 小瀬信忠 古溪和尚
 鴻池宗和 宗羽 神崎紹和 近衛家熙公
 近衛信尋公 小堀遠江守 小堀大膳亮
 小堀權十郎 小堀十左門 江月和尚
 古筆了學 河野宗鷗 近藤官春
 小宮山全之進 小島卜齋 小菅又三郎
 近藤善藏 小泉兵庫 高野長賀

高源院、小出伊勢守、小菅因幡守
上月八日、米屋與十郎、近藤右膳
高源寺、後藤經忠、近藤佐兵衛
幸阿弥、近藤是誰、駒井半助
後藤源左

圓乘坊、圓明、圓阿彌
圓正寺、延命寺、圓通寺
惠比須唯一、榎本又右門

天王寺屋引拙、寺澤忠次郎、寺西筑後守
鳥居氏、寺村三貞、寺山元吉
寺町三知、寺尾栄助、寺尾安助

天方備中守前、有馬豐氏、天野屋宗也
 天野屋覺南、阿部野土左門、安藤源藏
 青山大膳亮、青地宗白、阿部伊豫守
 明智光秀、安部久信、安藤若狹守
 安藤治右門、安藤治右門、安藤八右門
 阿部勘左門、安達雲齋、足立雲齋
 阿部能登守、安藤對馬守、荒林一掌
 青木宗鳳代三、油屋紹佐、油屋常祐
 菑屋宗佐、波路屋宗和、油屋宗味
 阿部隱岐守、荒川如水、朝日丹波

栗田口善法、淺野采女正、飛鳥井三位
 荒木喜文、荒木撥津守、青木紀伊守
 青木左京代二、淺井八兵衛、細干屋道琳
 有馬源竹、荒木道陳向北、縣宗智
 足立吾竺、有馬了友、青木春次
 淺野左京、有田道瑞、有馬玄蕃守
 荒林一掌

西福院 佐久間正勝 佐藤將監

齋藤佐渡守 佐久間宗透 里村紹巴

佐久間勝之 佐世与三左衛門 佐竹右京太夫

薩摩中將榮高 薩屋屋道舟 齋藤雁鷗

斎藤總模 阪田源三郎 酒井是山

佐久間將監 佐川田昌俊 酒井隱岐守

佐野紹益 佐野紹佐 佐野紹貞

篠田松嶺 佐久間順齋 櫻井惣右三門

酒井駿河守 酒井日向守 佐分利忠菴

齋藤頼母 依藤昌宅 相馬因幡守

相馬長門守、齋藤道節、佐々木道珠
 坂本周裔、堤園覺園
 三滴大、神原小兵衛、酒井玄蕃
 最上乘院二邑公、酒井雅樂頭、三田五郎兵衛
 西方寺

僖首坐、岸島兵衛、北向道陳二代司
 京極高廣、木村常陸介、久阿彌
 京屋又兵衛、喜多村石見守、京極八之助
 木津宗全、木津宗北、北就見平三郎
 木下伊賀守、喜多村彦右衛門、京極主膳正
 北村道遂、木下平九郎、北尾春倫
 岸紹易、京極壹岐守、岸島兵衛
 岸宗二、鏡尼、木下勝俊
 北村屋宗悟、歸齋、岐部次郎兵衛
 木下肥後守、北尾春倫、清水寺蓮乘院

幽歌

三好康長、三好之康、三好宗三
 三宅喜齋、三輪大學、三好實休
 三谷宗鎮代田、溝口玄齋、三谷三九郎
 三宅七郎右門、三輪孫右門、水谷兵庫
 三谷勘次郎、三輪滿藏、三好丹藏
 水野惣兵衛、水野監物、水落宗惠
 妙法院殿、官木藤左門、水谷伊勢守
 三宅備前守、三木治兵衛、水谷一堅
 水村仁兵衛、水野三郎兵工、溝口内匠

水野喜右門

真能阿彌、真藝阿彌、真相阿彌

真源彌、島空海、珠德深見氏

竹條道耳、志野宗信、志野宗温

釋功叔、釋長盛、鹽屋專右門

篠原弥助、島津兵庫頭、完鏡戶善兵衛

慈胤法親王、清水宗真、下條長兵衛

柴原喜右門、設樂喜太郎、真福寺

澁谷意齋、澁谷意三、清水道用

清水道等、清水動用、清水道啓

清水道簡、清水道先、清水道伯

清水道齋、清水道榮、島田慎一

志波四郎治、篠原長兵衛、釋策傳

島紹休、清水宗真、清水道茂

塩屋宗悅、芝山監物俊

城宗信、紹安、紹二、壽安、院

春學、真性寺、十方寺

島村紹億、島村紹億、釋信海、
心行寺禪磨、真福寺、真光寺、
塙身幸七、白石橋磨、車笠庵一齋、
清水柳溪

東山殿

日野輝資卿、平岩忠左門、平山紋右門、
樋富安右門、菱屋武右門、樋口松阿彌二
樋口治郎左門、久田宗全、久田宗也
久田宗玄、久田宗參、久田宗悅
久田宗溪、平野宗桂、尾刈房宮
備前將心齋、土方縫殿助、平野屋宗貞
秀忠公、平山良佐、久具太郎兵工
日向主稅、平林淳馬妻、平岡銀左門

比喜多元連

餅屋道機、毛利輝元、萬代屋宗安

萬代屋宗貫、萬代屋与四郎、餅屋又七

毛利少將重就、守廣宗屋、百野湖月

百野宗湖、望月宗竹、毛利甲斐守

守屋助次郎、望月三悦、守隨彦太郎

毛利讚岐守、森勝見、森川紀伊守

森玄陽、森占齋、木林川内膳正

千利休、千宗易、錢屋宗納

千道安、千宗淳、千宗且

千宗佐江、千宗室仙、千宗守翁

千宗拙、瀨田正忠、瀨川左馬

施華院宗、瀨田掃部伊繁初名、瀨田掃部頭正忠

千表、江岑、良休、千宗巴、原叟

天然、叫翁、了々

千裏、仙叟、常叟、春叟、竺叟

一燈、石翁、柏叟、千宗玄、千玄堂

千別家、二翁、文叔、真伯、真翁

叟翁、千宗守、辨妙之翁、好々翁

專至和尚、成勝寺、仙臺中將細村

仙臺中將細村吉村、仙石治左工門

仙石次兵衛、善慶寺、禪海和尚

仙石權兵衛、関本伯典、関竺僊

關、彦右工門、青龍院、千家筑後

牧木普齋 住山揚南 鈴木一齋
 鈴木玄隆 鈴木春波 牧野久吉
 鈴木清兵衛 鈴木長八 鈴木宗林
 鈴木宗門
 菅沼主殿正 隨宜藥院准三后
 牧浦出雲守 鈴木知足庵 瑞泉寺
 菅道阿弥 炭屋助三郎 牧田金十郎
 杉市左工門 須藤久左門
 諏訪部久兵衛 菅沼定實

十秋式部大輔 · 拓左京

帶金宗茂 · 芳賀郷右工門

衣斐了義 · 安威頼母

文如上人 · 永喜秀圓

休盛秀宗 · 休盛宗勝 · 休盛勝雄

休盛英勝 · 倉光日向守

鴨川筑後守 · 相庭七右工門

氏家喜太夫 · 八甫谷林益

志林三栄 · 香西織衛

祝 但見 · 相良宗因

石川丈山 花押録 石川自安

僧百拙 家原清藏 京

釋元政 花押録 今宮宗了 浪水指

釋一絲 花押録 板屋彦兵衛

伊豫西條 蜂谷宗悟

賣茶翁 速水宗寬

奏紹甫 針屋宗真

濱田傳左門 半提庵 半寸庵

八文字屋庄右門 羽田五郎 塗

八條宮本庸香

西村道仁全

西村九兵衛全

西脇善右工門必淵

西田平作置筒花

別所吉兵衛茶入

道觀

道元禪師

道正院道正庵

東福院殿

藤左門全

道彌〃

道運全

道有〃

茶臼屋小兵衛

陸羽字鴻漸采茶翁〃号〃或〃竟

陵子又東園子〃号〃

御史季卿

傳教大師入唐

江別及本：植 〃 〃 日吉の社記

桓武帝

平城帝の大司弘法大師

建仁寺榮西禪師宋ヨリ帰朝の片茶の旗〃

傳〃筑前博多〃裁〃鎌倉〃

心〃新下〃脊〃植〃

太平記〃佐々木道譽

堺崎穴寺

妙法庵

山田元信大徳寺の行者

鴻の巣三鳥、竹の子珠文の鳥の首は
表流と表とお流

竹の子の形と表

重宗有、表流、竹の子、紅の鳥

銀鳥の鳥根の鳥の首

天王寺屋五兵衛、表流、竹の子

鴻の巣三鳥、表流、竹の子

鴻の巣三鳥、表流、竹の子

海船有、表流、竹の子

の鳥上人、表流、竹の子

梅の鳥、表流、竹の子

納屋助右衛門、表流、竹の子

山中善作、表流、竹の子

明恵上人、表流、竹の子

西村道仁、表流、竹の子

金師と二鳥、表流、竹の子

辻上正久、表流、竹の子

名護屋越前入道善正、表流、竹の子

初代淨時 二代 三代

・淨時之子 庄兵衛 大西孫一郎 全師

・孫三右衛門 改道治 孫三右衛門 道治

・宮崎長九郎 加判判長公へ 孫三右衛門 孫三右衛門

・西村九兵衛 奥平佐兵衛へ 孫三右衛門

・清右衛門 乙卯前住 乙卯前住 孫三右衛門

・所打石 孫三右衛門

・孫三右衛門 孫三右衛門 孫三右衛門

・中尾宗古 孫三右衛門 孫三右衛門

・野溝 孫三右衛門 孫三右衛門

山中氏 孫三右衛門 孫三右衛門 日〇丸

山中氏 巴蓋 郡山慶 土〇丸

探幽 四方〇 孫三右衛門 柳沢慶

山中氏 孫三右衛門 孫三右衛門 天津清水慶 孫三右衛門

郡山慶 孫三右衛門 孫三右衛門 後藤玄乘 雷吉金

凡如 孫三右衛門 孫三右衛門 孫三右衛門 孫三右衛門

右三人 孫三右衛門 孫三右衛門

孫三右衛門 孫三右衛門 孫三右衛門 孫三右衛門

孫三右衛門 孫三右衛門 孫三右衛門

孫三右衛門 孫三右衛門 孫三右衛門 孫三右衛門

可成のそとより宗義と云ふ人の家名

と書く

・ 佐之間氏 尾板

・ 西脇 絆屋善右衛門 好淵

・ 板屋 彦左衛門 長坂 好淵

・ 津田 久兵衛 近江包

・ 布屋 加兵衛 辰左衛門

・ 林 辰左衛門 堀 辰左衛門

・ 継 和子 知高 杉皮

・ 堀 辰左衛門

・ 家 康 法 義 辰左衛門

・ 重 利 辰左衛門 辰左衛門 根太 一 善 八 門 入 氏

・ 近 江 包 久 兵 衛 辰 左 衛 門

・ 佐 藤 辰 左 衛 門 辰 左 衛 門 白山 氏 辰 左 衛 門 辰 左 衛 門

・ 東 福 院 辰 左 衛 門 山中 善 五 郎 辰 左 衛 門

・ 八 丈 辰 左 衛 門 辰 左 衛 門 辰 左 衛 門 辰 左 衛 門

・ 竹 浪 辰 左 衛 門 辰 左 衛 門 辰 左 衛 門 山中 辰 左 衛 門

・ 久 田 辰 左 衛 門 辰 左 衛 門 辰 左 衛 門

・ 大 延 辰 左 衛 門 辰 左 衛 門 辰 左 衛 門

・ 廣 田 辰 左 衛 門 辰 左 衛 門 辰 左 衛 門

古川源三郎 乃多松丸の〜 久重、一早松葉

北條美濃守 花入〜

正親町帝

錢山宗 宿丹 西郷平介 宿丹

竹原守 新保本著

三谷宗鎮 南唐芋歌太著

沖谷多三郎 浪舟美濃守

近江守 依良陣目成

平野車丸 夕子子乙丸

小出伊能守 文前系人

仙三郎 後 木下不統系人

道元 經師

吉兵衛 肥後燒名人

山科 云丹波燒 子分山科 所抄

新三郎

神谷忠信 布袋傳名人

矢倉九右衛門 山田元作

林有海 沢秀次 宮師

友重 関宗長

中打守 堀八兵衛 三村宗隆 榎茶音

木村松之助 日神存 中野笑仙 純別茶道

白山 臥雲 松本 泉

海影 松本 二 龍 寺

三宅 色 年 山 妙 龍 泉 上 祐 解 茶 書

中川 淨 益 代 有 松 古 内 後 為 氣 茶 一 采 折

端 多 茶 書

大 之 院 今 精 寺 茶 後 日 信 志 任 長

海 影 松 本 泉 一 采 折 今 精 寺

本地 古 近 祇 南 海

錦 善 和 隆 寺 雪 吹 山 中 宗 有 南 瓜

三井 羽 田 五 郎 今 小 路 通 三 翠 竹

井 戶 若 校 寺 存 折 井 戶

孤 蓬 庵 寺 列 道 正 庵 一 丁 六

曾 谷 伯 庵

珠 德 窓 栖 羽 園 宗 印

冬 木 喜 幸 次 寺 形 殿 村 平 右 衛 門

加 列 利 長 公 竹 菴 寺

茶人名家一覽、在テ 點茶活法、見ハズ
公左、

釋百拙 名元養字百拙洛西法藏寺
の同祖也 詩歌茶事及畫を能くす 尤
善書より 畫くこと亦 蘭の圖殊多し
寛延二年二月三日寂す 壽八十三歳
又云名元養号葦菴一々釣聖ト号

釋元政

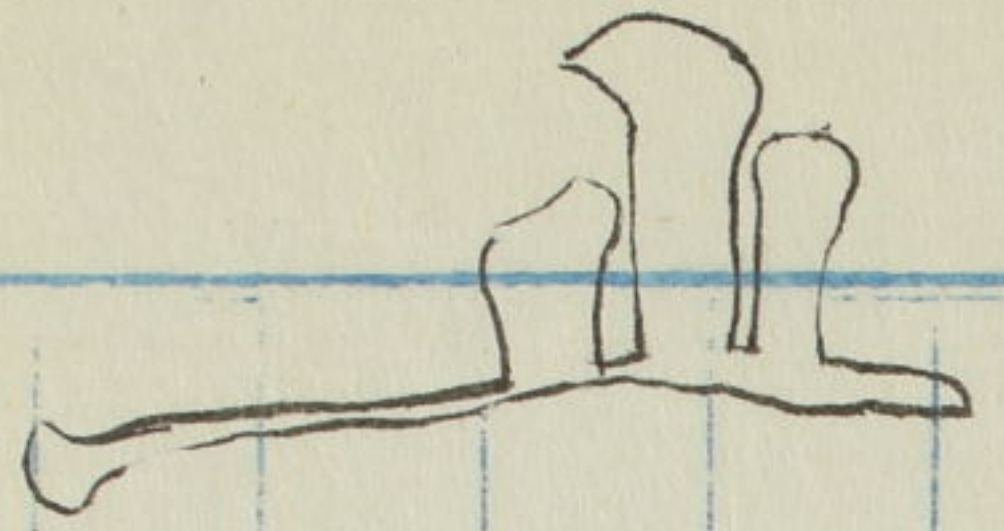
深草瑞光寺用山有不可思議霞谷山人
春夢妙子空子幼子顯星幼生恭堂等
之數名 寛文八年二月十八日寂す 四十六歳

釋元政



釋一絲

岩倉木工頭具堯朝臣之三男名文守
號桐江 西加茂霧源寺及丹波千
畑法常寺等之開基 正保三年三月
十九日寂す 歳三十九 蓋佛頂國師



道桂 其姓未詳 攝津平野の人 或説、利休
宗易の室 宗恩の弟と云々 和漢書画便
覧 茶人の部、何々

・ 藪下太郎庵

藪下氏 尾張の人 画筆 氣韻 高逸 又
茶事 母精 同上 茶人の部 及ヒ 画の部、何々

・ 曲全

稱 天満屋 左市 号 蝸牛庵 尾列の人
茶人の部 和漢書画集覧、出たり

・ 石川丈山



名ハ 凹 嘉右衛門 信定の男 何々 名々 重之
初の嘉右衛門 後 稱 嘉右衛門 後 改 稱 左近 退 隱
于 京 北 一 乘 寺 村 叙 詩 仙 堂 有 四 明 山 人 遷
齋 淑 芳 窩 歎 啓 大 拙 烏 鱗 山 木 山 折 壽
春 翁 六 々 山 人 頑 仙 子 等 の 數 號 寬 文 十 二
年 五 月 廿 三 日 寂 壽 九 十 歲 三 河 の 人
詳細 由 緒 左々 書 画 名 家 全 傳 母 卷

・ 草部屋道説人

和漢書画集覧 茶人の部分の今井宗久。
下、何々 多々、何々の人々

石川自安

自安

京極高廣朝臣閔知久須美疎安ト友也若
東園崎村退隱稱園徳の三老ト稱凡
宗直門人面影茶壺石川自安所拈宗直
自安ハ茶ニ系ラレ此茶壺細川三衛公所
持ノ鉢用ヨク似タルコト見シバ面影ト宗
且申サレ則箱書付自安筆面影トアリ
石川自安ハ園崎村住ル宗直門人ナリ元後友
也出生ノ人トモシバ後者自安トモシバ石
ノ茶人好ク者トモシバ今石ノ茶壺及

此茶壺之ハ所屬キ覺クモ亦ハ町田秋波
宛一通シモ樂老居ルハ所拈也

宮尾道三

多列傳ノ人知漢書画集覽雜部今春及蓮
家人謡曲及茶事名アリ又能書其女千利休
ノ妻ナリ法名宗恩ト云數考ノナリ
又知漢書画集覽醫家部

道三

曲直瀨氏一溪又翠竹軒ト稱ス京師
ノ人叙法印位好茶事

又茶人花押録今小路道三
号翠竹院一溪翁又稱ス
友松子以医術鳴ル亦茶人

ヲ好ム

宗恩女

和漢書画集覽雜部道三の記書ニ道三ノ女
千利休の妻なり法名宗恩ト云數子の生
り又茶人の教母道桂トテ宗恩の弟
ト云ハリ

山乗坊

京師の住師何れナリ

舟越五郎左衛門

以上

木下半助

福城坊

大枝流芳

和漢書画集覽之新部

大坂のくろく名所

南都松屋

久重 久竹

茶入肩衝 名物記に出くる三十餘もの

南都松屋肩衝ハ傳書ニ世々名あり

持身も斯くもせられぬ必りいふべき

しきありてそ外之貴の方くぬきぬのふふ

ふハ持身も子なる程 久重七種早稲

久竹茶道教録に出たり 古川源三郎

道元禪師 和僧 希元道元

佛法禪師と号し、建長五年八月廿八日寂
年五十四 曾而加藤四郎右卫門道元禪師

小従へ入唐し世に藤四郎と号す、詳部

和漢書画集覽釋部：希元名道元久我並

相通忠千入宋、長翁如海、法嗣ト云

越前永平寺開山建久五年寂ス

榮西禪師

唐土より茶を携へて、傳者之實
新く云々

王村宗徳 紹興中、元伯、甚且、

判を以て仙史へ譲り、其後、

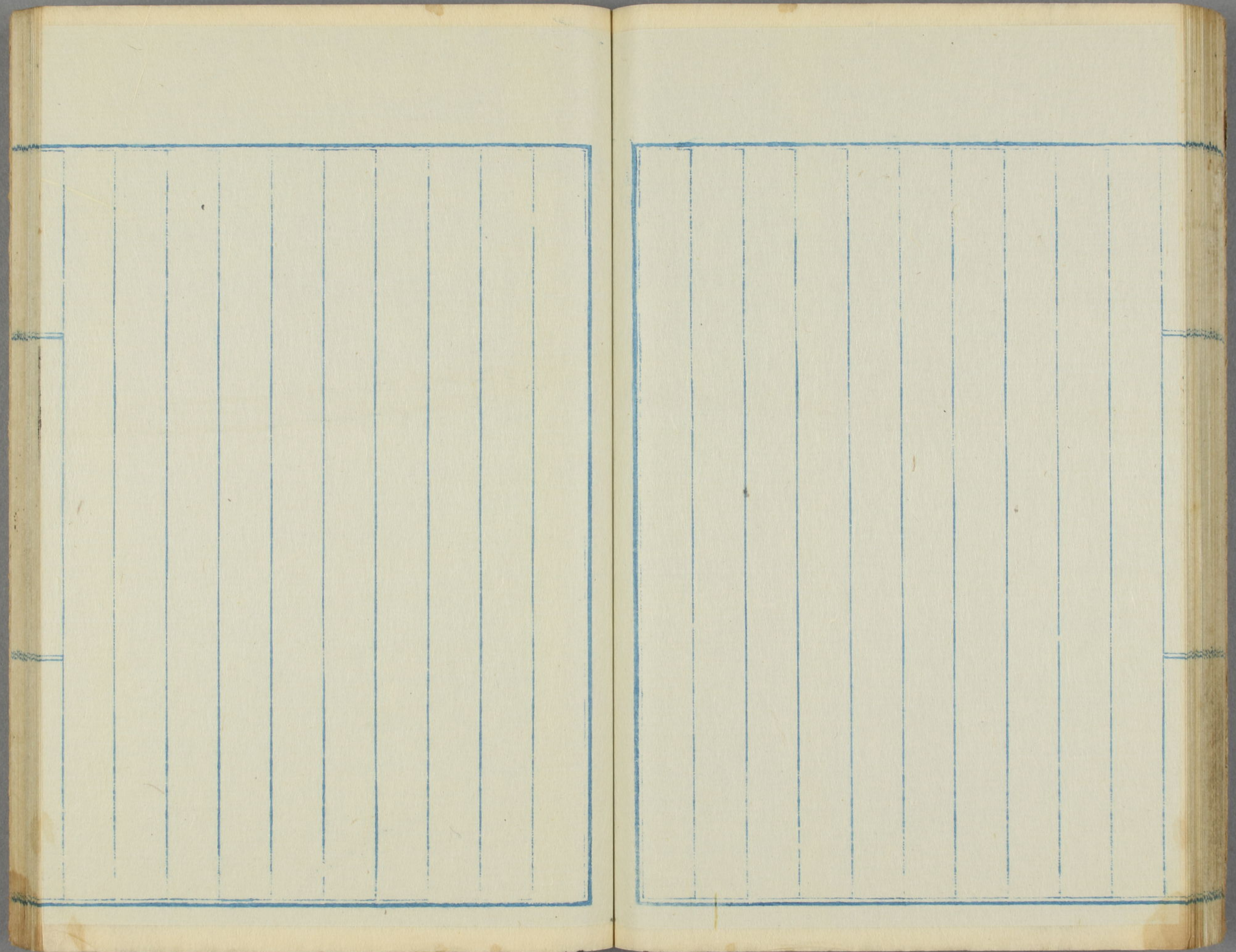
云村、其後、、其後、

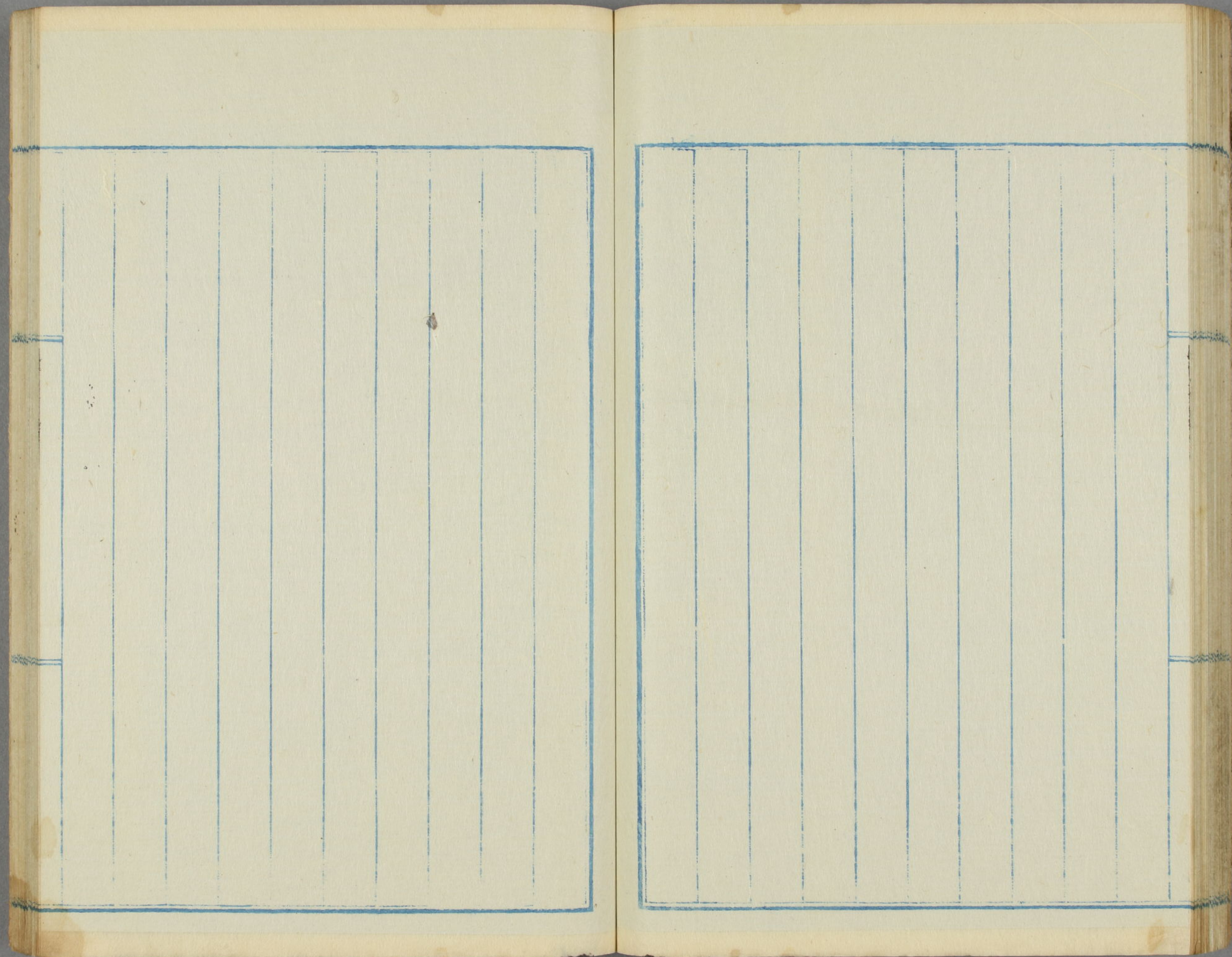
村ト云々、其後、

ト云也

中野笑仙 純別、其後、

目録、其後、





北田端ヨリ 悪語ノ如ク

縣會議員北田端、立寄ノ成

割場及リヨ云ニ

一 夫々病死ノ成ノ悪語ノ一

一 又ニ此月ノ一 せん云々ノ悪人中人及陰

一 一ヨヨル者ノ一 悪中ノその悪可恨也

一 悪語ニあつての事

一 悪語ニあつての事

一 和曲ニ後座ノをいふ事自居云云中ノはら

一 五帳ノ事ノ偽の事

一 和の強者の事と云ふ事ある事而此の事

一 善目ニ云ふ事ノ事

一 一ヨヨル者ノ一 悪中ノその悪可恨也

一 一ヨヨル者ノ一 悪中ノその悪可恨也

一 一ヨヨル者ノ一 悪中ノその悪可恨也

一 一ヨヨル者ノ一 悪中ノその悪可恨也

一 一ヨヨル者ノ一 悪中ノその悪可恨也

一 一ヨヨル者ノ一 悪中ノその悪可恨也

一 一ヨヨル者ノ一 悪中ノその悪可恨也

一 一ヨヨル者ノ一 悪中ノその悪可恨也

のりきり田舎から、夕方の

はーる、二十一年、西宮の

はる、二十一年、西宮の

はる、二十一年、西宮の

はる、二十一年、西宮の

はる、二十一年、西宮の

はる、二十一年、西宮の

はる、二十一年、西宮の

はる、二十一年、西宮の

はる、二十一年、西宮の

はる、二十一年、西宮の

はる、二十一年、西宮の

奉

はる、二十一年、西宮の

はる、二十一年、西宮の

平井伊らり、東京外、行旅仁平次、

ノ

○ 灰吹 下駄 建具 傘 洗瓶 物仕

火湯の洗瓶、奉、乳、午、時、持、来、忘、

火湯の洗瓶、奉、乳、午、時、持、来、忘、

清七郎と義絶ノ人々

宮崎仁右衛門先代法孝ノ時

誓覚寺法教

由平井伊三郎東京行ノ片

行成仁平治

長谷川太兵衛 妙可大僧

あゝ三か人の作云：

新ひあつたよきよは、あつたよきよを換へんと
あつたよきよを換へんと、あつたよきよを換へんと

百七十年三月、あつたよきよを換へんと、あつたよきよを換へんと

あつたよきよを換へんと、あつたよきよを換へんと

二階めそ 夜ふ 窓をくち成建るゝのり
荒々事

一 枕えり 新撰の事

一 窓所 かのいし事

一 夜中 自ら目さるゝのり
の事

一 二階のつれきぬくろの事

一 後を心も重ぬおるゝのり

一 ちんぼん ちんぼんの上の事

後 ねをなるゝのり

一 ちんぼん ちんぼんの上の事

一 力事 のり 下 ね

一 建るゝ ね ね

一 二階のつれきぬくろの事

一 事 上 ね ね ね

一 入りのつれきぬくろの事

一 下 ね ね ね ね

一 ちんぼん ちんぼんの上の事

た
た

入の... 又... 年... 出... 北... 三... 心...
入の... 又... 年... 出... 北... 三... 心...
入の... 又... 年... 出... 北... 三... 心...

ら... 下... 一... 一... 一... 一... 一... 一...
ら... 下... 一... 一... 一... 一... 一... 一...
ら... 下... 一... 一... 一... 一... 一... 一...

日平のたつ病氣の事云々

影之海名くおのりて

子燈を毛物

指深し

し馬指深し

指深した

影の曹年指深し

三つ

一松葉を夜も集積し

を嬉好む

一あつとせらるる海級持

中一入り

毛ぬき

甲らら改新

ミカニ

わりか

く

あつとせらるる

はら

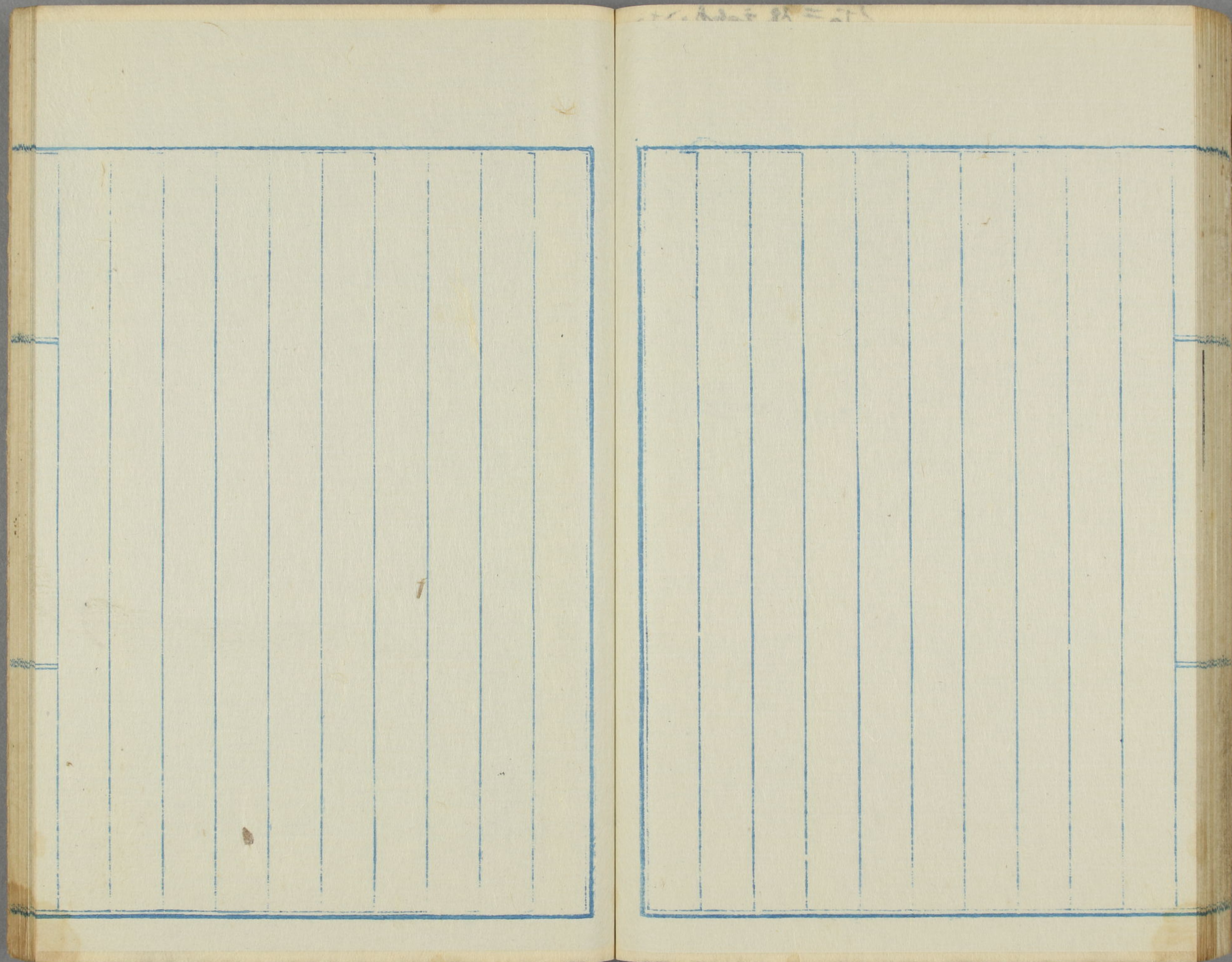
年六
月燭師のりあ

日三
年四
ある

朝飯の時に火降落の事
のりあ
火の事
二階の下
又三
年

おあ
内
心
陽
子
二
三
年
四
年

おあ
内
心
陽
子
二
三
年
四
年



四月十八日大阪毎日新聞の今回の旅順攻撃
に參加したる軍艦及び船長は次の如

戦艦三笠 大佐 伊地知彦次郎

〃 初瀬 中尾 雄

〃 敷島 寺垣 猪三

〃 朝日 山田 彦八

富士 松本 和

八嶋 阪本 一

巡洋艦 日進 竹内平太郎

春日 大井上久麿

笠置 〃 井手 麟六

千歳 〃 高木 助一

高砂 中佐 石橋 南

吉野 大佐 依伯 闔

驅逐 雷 大尉 三村 錦三郎

電 少佐 篠原 利七

曙 〃 九津見 雅雄

龍 大尉 竹村 伴吾

春雨 少佐 有馬 律三郎

村司 少佐 水町 元

速鳥 少佐 竹丹次郎

朝霧 〃 石川壽次郎

叢雲 〃 松岡修藏

夕霧 〃 鍵和田尊太郎

不知火 大尉 渡辺仁太郎

陽炎 少佐 井手篤行

隼 大尉 桑嶋省三

鶺鴒 〃 吉川安平

真鶴 〃 飯田延太郎

千鳥 少佐 櫻井吉丸

雁 大尉 阪本重國

蒼鷹 少佐 矢嶋純吉

鶴 大尉 原田松太郎

燕 大尉 庄野義雄

東郷聯合艦隊司令長官 平八郎

梨本宮守正平殿下

海軍中尉 山口毅 二等機関兵 土屋勝太郎

八嶋艦分隊長 海軍大機関士 宮崎虎吉

兒玉參謀次官 源太郎 山口 九七年四月三

極東太守アレキシーフ

露 陸軍大臣 クロバトキン

外務大臣 ラムスドルフ

小村外務大臣

大山參謀總長 山本海軍大臣

伊東軍令部長

マカロフ提督ノ死後 麻提督

アレキシエフ

第四驅逐隊司令 長井群吉

旅順閉塞決死隊七十七士各船ノ乗組員 功最
天津丸 有馬中佐 山賀大機関士 上信上等

兵曹外十四名

報國丸 廣末少佐 栗田大機関士以下十四名

仁川丸 齋藤大尉 南澤口士以下十四名

武陽丸 正木口 大石中機関士以下十一名

武列丸 島田中尉 坂中機関士以下十三名

山賀大機関士 山賀代三氏 新潟縣東

蒲原郡 越後國 松尾村生

一等機関兵長 井右吉氏 數十世連綿

舊家ノ継嗣氏ハ廣嶋縣備後國神門
 郡直村字東平野長井兼平氏ノ次男
 取有南區六系休所永井義尚氏
 の夫人文子ト右吉氏の從姉也
 一等機園共 上野岩次郎 常盤
 氏ハ明治十年十月方を以てなる大和
 吉野郡吉野山下ハ此ノ地ノ名ノ
 小島高志ト云ハ入ノ地なるが去三
 年ハ一ノ目ハ南葛城郡鴨神村
 上中橋ちのの地子

一等機園兵 玉井虎之助

和歌山縣日市上町甲四番屋敷 玉井市松

長男

海軍少佐廣瀨武夫 ヲホノ 大分縣直入郡竹田町人

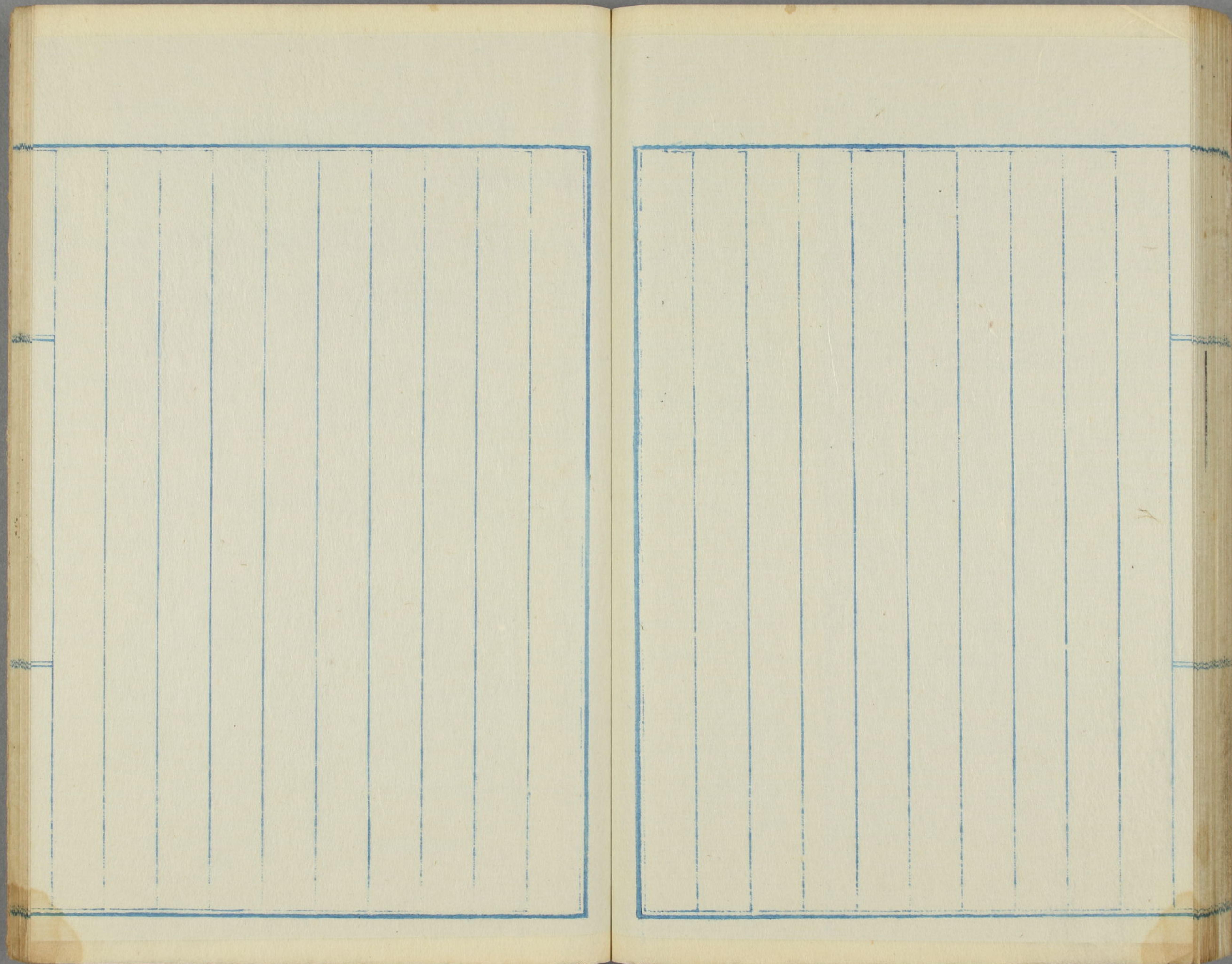
海軍大尉齋藤七五郎 ナカノ 宮城縣仙臺ノ市

海軍中尉島崎保三 シマザキ 宮城縣仙台市

海軍一等機園兵 青木五郎

福岡縣筑前縣那八幡村野方所

ノ三男



以下全て
白紙

